

新ひのきの杜

～ 地域交流スペースを併設 ～



大きな窓とテラスが目印の
「mirai e」

入所者食堂・デイルーム

令和3年秋完成予定



社会福祉法人すぎのこ会

ひのきの杜 栃木市岩舟町曲ヶ島806番地1 TEL0282-54-3131

《 建設への想い5 》

地域包括ケア研究会報告書が出された平成25年頃から「自助」「互助」「共助」「公助」の考え方が話題となりました。そして、菅政権が目指す社会像として「自助」「共助」「公助」を掲げたことで、その考え方が再び注目されています。

自助：自分でできることは自分です、市場サービスの購入など

互助：当事者団体による取組、ボランティア活動、自治会など地縁組織の活動など

共助：費用負担が制度に裏付けられた相互扶助。医療、年金、介護保険、社会保険制度など

公助：税による公の負担。生活保護、人権擁護・虐待対策など

障害のある方が、住み慣れた地域で安全に・安心して・安定的に生活を送るためには、重要な4つの“助け”であることは言うまでもありません。

すぎのこ会では、今一度『互助』の考え方を大切にしていきたいと考えています。

互いに支えあうこと、一人ひとりの力を活かすこと、縁を大切にしながらつながること、みんなでこの街を元気にすること……。

職員や住民は支える人、障害者や高齢者は支えられる人といった一方的な考えではなく、双方向の関係・相互に支えあう関係・協働関係が、この地域に広がっていくことを願っています。

今回の新ひのきの杜では、誰もが集まれる、交流できる「地域交流スペース」を設置いたします。未来に向けてつながる場所（家）を目指すという想いを込めて、愛称は「mirai e」（みらいえ）とする予定です。障害を持つ方のピア（自助）グループ、家族のグループ、福祉の専門家のグループに留まらず、地域の人とつながりたい・一緒に活動したいと考える方のご利用を歓迎します。Cafe、Bar、体験教室、子ども達の居場所……、福祉の枠を超えて、様々なコラボ（〇〇×福祉）を生み出し、発信し、障害者だけでなく誰もが暮らしやすい地域の拠点を目指したいと考えています。

施設も地域資源の1つ。すぎのこ会は、施設の社会化・地域化を推進しています。

きょうせい社会…共生、協生、響生、共成、協成…
く共に、協力し、響き合い、成長しながら、生きるく